

感染性胃腸炎がはやる季節です。

感染性胃腸炎は感染力が強いので、感染後は、早くに発症します。

普通のかぜの対応と違い、嘔吐物や下痢の処理などは特に注意が必要です。

感染性胃腸炎（ウイルス性胃腸炎）

＜病原体＞主としてノロウイルス・ロタウイルス。

＜潜伏期間＞1～2日。

＜感染経路＞主として経口感染。（手を介してうつる） 飛沫感染も考えられる。

＜症状＞嘔吐と下痢が**突然始まる**ことが特徴の疾患。発熱することもある。

2～7日でおさまるが、便の中にはウイルスが1～4週間くらい残るので、症状がおさまったあともうがい・手洗いをていねいに行う。

脱水症状に注意する。



* 常温の経口補水液、味噌汁、スープなど、少しずつこまめに水分を飲ませる。

＜注意＞嘔吐物を処理するときは…

* **感染力がとても強いので**、処理する人は直接手でさわらずにビニール手袋やマスクをする。

* 窓を大きく開け、換気する。

* 嘔吐物はペーパータオルで処理し、ビニール袋に入れて燃えるゴミに捨てる。

* 使ったタオルは洗濯しないで、捨てる。

* 使ったビニール手袋やマスクもビニール袋に入れて燃えるゴミに捨てる。

* 嘔吐物のついた所は、すばやく薄めた家庭用塩素系消毒液で拭く。

（乾燥すると、ウイルスが空気中を舞って広がります）

* 下痢のときは、トイレの取っ手、便座、ドアノブ、床などを

薄めた家庭用塩素系消毒液で拭く。

* 嘔吐物や下痢便を処理した人は、石けんで手を洗い、うがいをする。

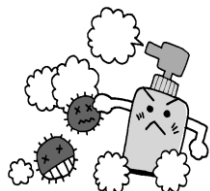


ハンカチを持ちましょう！

嘔吐や下痢がおさまっても、便の中にはウイルスが1ヶ月近く存在するといわれています。

感染の予防には、手をよく洗うことが何より大切です。しかし、きれいに洗ってもそのあと手を振って乾かしたり、服で拭いたりしている人を見かけます。

ポケットの中には毎日きれいなハンカチを入れておくようにしましょう。



学校では…

学校で嘔吐をしてしまった場合は、嘔吐物や使ったペーパー類は次亜塩素系消毒薬に浸し、二重のビニールで縛り、燃えるゴミとして処理しています。

嘔吐や下痢をした場所はしばらく換気をします。汚れた所や回りのドア、トイレの便座水道の蛇口なども、次亜塩素系消毒薬で消毒して、感染が広がらないようにしています。